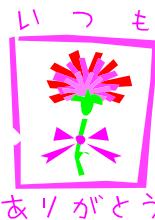


被災地と、みんなを結ぶ

2012 年 12 月 26 日 No. 1

つながろう！絆・連合



発行 連合 南雲事務局長(総合組織局・連帯活動局)
電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp
日本労働組合総連合会(連合) <http://www.ituc-rengo.or.jp/>

“震災を風化させない”との決意をあらたに！

皆さま、こんにちは！ 年の瀬も押し迫り、慌ただしい毎日かと存じます。

さて、このたび連合では、これまで以上に東北被災県に寄り添ったきめ細かな対応を図っていこう！ということで、連携体制をあらためて充実させることにしました。(11月9日の地方事務局長会議で確認) それは、連合本部の窓口を明確にし、定期的に現地の状況を聞き取り、その内容に対する取り組みをきちんとフィードバックし、“震災を風化させない”という強い思いを込めて、より太いパイプでつながることをめざします。

2011年3月の大震災から1年9ヶ月。復旧・復興に向けて確実に前へ進んでいますが、まだまだ終わっていません。このニュースを通して、頑張っている現地の姿を全国の仲間へ届けるとともに、連合本部や地方連合会および構成組織が東日本の復興支援に取り組んでいる活動などを紹介し、東北と全国を結ぶ“絆”を深めたいと思います。

★★活動紹介第1弾！★★

～連合埼玉の取り組み～

連合埼玉は、東日本大震災による影響で福島から埼玉県内に避難している方を対象に、ホームヘルパー2級資格の取得を目的とした講座を開講します。総合福祉事業会社である(株)ウイズネットの協力を得て、講座の運営にあたり、同社にて資格取得者で就業希望者全員の採用も予定しています。受講期間は3ヶ月間で130時間。受講費用については、狭山茶の購入支援による寄付金、メーカーでのカンパ集約、地協や構成組織によるチャリティーイベントなどにより集めた資金から全額負担します。労働組合として「雇用に結びつく支援」をキーワードとして展開していきます。(新聞記事を添付)



本取り組みに関する記者会見の模様
(中央:連合埼玉小林会長、右:同 佐藤事務局長)

さらに連合埼玉では、復興支援キャンペーンとして、狭山茶の購入支援、三陸やまだ漁協復興かきオーナー制度、連合群馬から声かけがあった福島県産の桃の斡旋販売などの取り組みを実施してきました。

詳しくは、連合埼玉のホームページをご覧ください。 <http://www.rengo-saitama.jp>

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

以上

ホームヘルパー 養成講座開講へ

連合埼玉

連合埼玉は30日、東日本大震災で県内に避難してきた人を対象に、ホームヘルパー2級の資格が取れる養成講座を開講すると発表した。総合福祉事業会社「ウイズネット」(さいたま市大宮区)が講座の運営に協力し、原則として同社が資格の取得者を採用する。

講座は1月開始と2月開始の2コース。定員は15人ずつの計30人。受講期間は自宅学習や実技研修など3カ月間(130時間)。

毎日新聞(2012/12/1)

連合埼玉は健康診断を含む受講費用6万3000円分を支援し、本人負担は研修先までの交通費や昼食代だけで済む。問い合わせ先は、申し込みが連合埼玉(☎048・834・2300)、講座内容が同社(☎0120・294・773)。

【木村健二】

埼玉新聞(2012/12/1)

ヘルパー養成 全員採用

連合埼玉と ウイズネット

連合埼玉(小林直哉会長)と総合福祉事業のウイズネット(さいたま市大宮区・高橋行憲社長)は30日、東日本大震災による影響で県内に避難している被災者の雇用創出や確保を目指し、訪問介護員(ホームヘルパー)2級の資格取得を支援する

と発表した。連合埼玉が資格取得費用を全額負担。ウイズネットの研修所や施設で実技や実習を行い、取得後は受講修了者全員を雇用する。

「労働組合として雇用に関わり、付く支援がなかった」と小林会長。ウイズネットも東北地方で不足している訪問介護員の支

大震災被災者の就業支援

訪問介護員の養成支援を発表する連合埼玉の小林直哉会長(右)とウイズネットの高橋行憲社長。30日、県庁



援を検討していたため、協力することになった。高橋社長は「介護業界は人手不足。修了者は全員採用させていた」と話す。

問い合わせは、連合埼玉(☎048・834・2300)か、ウイズネット(☎0120・294・773)へ。(砂生敏二)

資格取得のための講座の受講期間は3カ月間で135時間。1カ月目は自宅学習(七つのレポートを提出)、2カ月目はウイズネットの研修所で実技に臨む。3カ月目は県内に約100カ所あるウイズネットのグループホームやデイサービスセンターなどで実習する。実習は東北地方の施設でもできる。

1月開始と2月開始のコースがあり、定員はそれぞれ15人。ウイズネット以外の介護事業施設で働くことも認められる。申し込み受け付けは12月7日まで。交通費などは実費負担となる。